やまざとの風

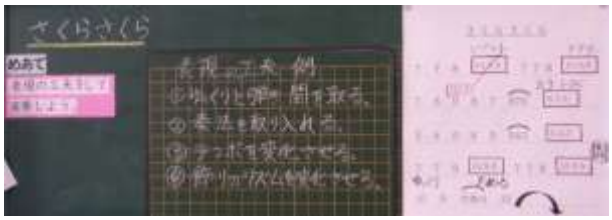
～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

山里中学校だより
2026. 11. 13 号
文責　岸本

日に日に寒さが増してきた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？私事ですが、我が家には愛猫がいます。寒さが増してくると、朝、寝る前と私の胸で寝る時間が長くなってきます。ぽかぽかと温かさを実感するとともに、「グルグルグル」と喉を鳴らす姿から幸せを感じている毎日です。

それでは、１１月上旬の生徒たちの様子をお知らせします。

「さくら　さくら」と響く箏の音色







音楽室から「さくら　さくら」と箏の音色が響いてきます。ちょうど今、３年生が箏の学習を行っています。先日、３年３組で研究授業が行われたので、様子を見に行ってきました。

授業のめあては「表現の工夫をして演奏しよう」となっていました。箏は３人に一面しかないため、生徒たちが実際に箏に触れる時間はほんのわずかしかありません。しかし、そのわずかな時間を使って、ビブラートを駆使したり、テンポを変化させてみたりと表現力豊かに演奏をしていました。途中、担当の木下教諭がお手本を披露。様々なテクニックを駆使した演奏が終わると、「おおっ」と感嘆の声が上がっていました。

演奏している生徒、聴いている生徒、本当に楽しそうに、明るい笑顔があふれる授業でした。

山里小学校区に暮らしていて感じることをみんなで話そう！





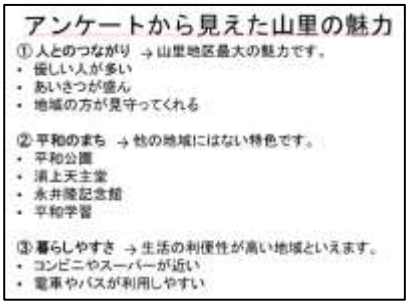


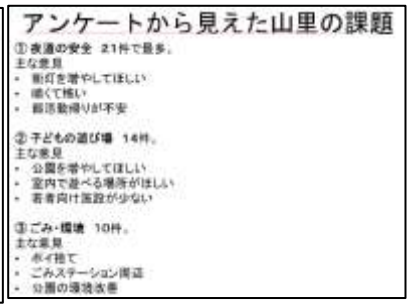


１１月１日（日）、山里小学校区コミュニティ連絡協議会主催のワークショップが開催され、本校を代表して山里小学校卒業の３年生生徒会役員６名が参加しました。

当日は地域の方々とともに「山里小学校区の良いところ」や「地域の課題」について話し合いが行われました。初めは緊張した表情を見せていた生徒たちでしたが、時間がたつにつれて積極的に意見を述べるようになり、自分たちの考えを堂々と発表していました。

グループ協議では、地域の方々から学校生活や部活動の様子、普段の地域との関わりなどについて多くの質問が寄せられました。生徒たちは一つ一つの質問に丁寧に答えながら、「自分たちが住む地域をより良くしたい」という思いをしっかりと伝えていました。





今回の協議には、山里小学校卒業生１１９名から事前に寄せられた「地域の良いところ」「地域の課題」に関する意見も活用されました。代表生徒たちは、それらの意見を踏まえながら、「人と人とのつながりの温かさ」や「平和のまち」といった地域の魅力について発表しました。また、地域の安全やゴミのポイ捨てなどの課題についても、自分たちなりの考えを述べることができました。

また、地域の方々の意見に真剣に耳を傾ける姿からは、地域の一員としての自覚や責任感もうかがえました。そして、会の最後には、本校生徒２名が自ら手を挙げて感想を発表しました。

今回のワークショップを通して、生徒たちは地域には多くの方々が学校や子どもたちを温かく支えてくださっていることを改めて実感したようです。これからも地域とのつながりを大切にしながら、地域の未来を担う一員として、生徒たちが主体的に行動していくことを期待しています。

お知らせ　あさって予定されていた「たかお祭り」は中止となりました。

「学校だよりは保護者の方に学校のお知らせをする文書です。無断で SNS 等への掲載をすることがないようにお願いします。」